



南葵音楽文庫ミニレクチャー

南葵音楽文庫を知る ー基本の基本ー 2 デジタル

篠田大基

2019年1月11日（金）18：15

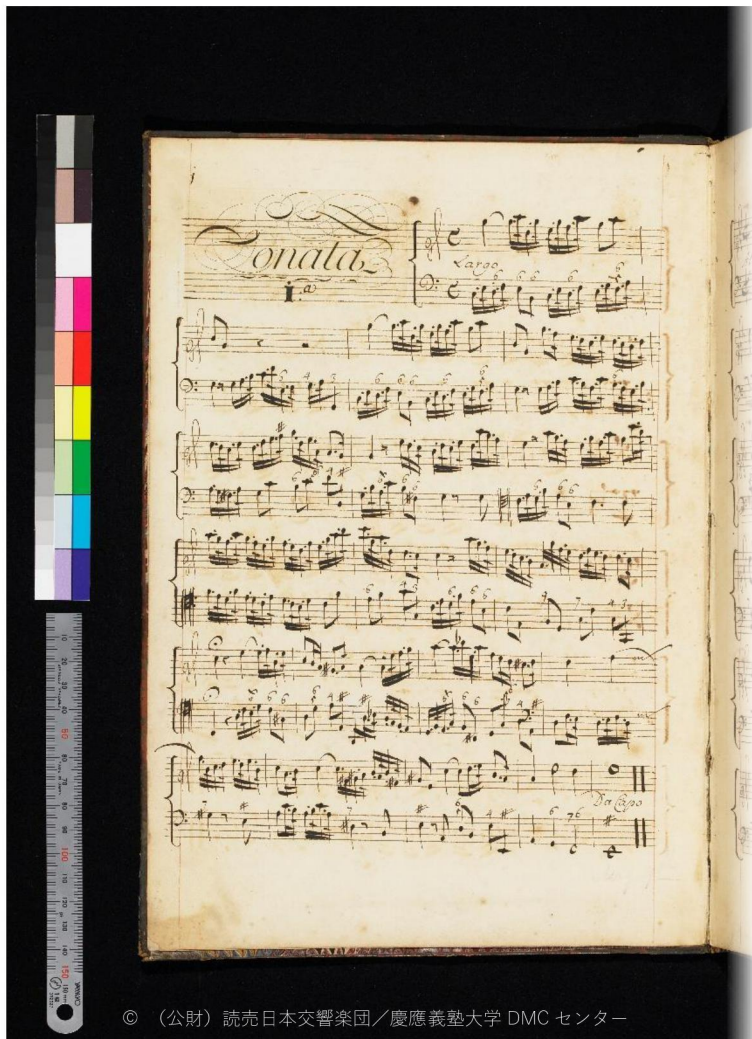
和歌山県立図書館 南葵音楽文庫閲覧室

慶應義塾大学 デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構（現 研究センター）内の研究プロジェクトによる、南葵音楽文庫のデジタル化と流通、活用に向けた取り組み

南葵音楽文庫
和歌山県立図書館内
和歌山市西高松 1-7-38
tel.073-436-9500
<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/nanki/>

- 貴重資料の高精細デジタル撮影 2006年8月～
対象資料99点中47点+関連資料7点 計3,204カット撮影 2,200万画素
- 資料マイクロフィルムのスキャンング 2006年11月～2007年2月
全260リール 129,685コマ スキャン完了 白黒2値 A4 400dpi
- 資料画像閲覧サイト『デジタル南葵楽堂』[簡易版]
<http://note.dmc.keio.ac.jp/music-library/>
- 紀要『Oxalis：音楽資料デジタル・アーカイヴィング研究』全3号、学会発表
- 関連コンサート2回、演奏録音・ビデオ撮影セッション3回実施、など

2011年3月 プロジェクト終了。芸術資源研究所がプロジェクトを引き継ぎ、非接触式スキャナーにより、貴重資料のデジタル化を完了。



左 資料のデジタル画像の例

Pepusch, *Eight solos or sonatas for a violin, a bass-viol or harpsichord*. N-6/63

下 資料撮影の様子



貴重資料撮影の注意点

- 資料を破損しない。資料に負担をかけない
(本の開きは100度程度に抑える)
- 全体に均一な明るさ（照明等の工夫）
- 原資料の再現性（カラーチャート、定規、記録）
- 画像の信頼性

©（公財）読売日本交響楽団／慶應義塾大学 DMC センター